

# 地域を牽引する女性人材育成事業【福岡県】

個別事業費	1,882千円
交付金額	940千円

## 地域の実情と課題

○近年、県内で豪雨災害をはじめとする大規模災害の頻発により、自治会など地域コミュニティにおける共助の重要性が高まっている。また、新型コロナウイルス感染症による社会の変容に対応した多様な視点が、地域コミュニティに求められている。

○県内の自治会役員の多くは男性であり、また、市町村の審議会に占める女性委員の割合も、県第5次男女共同参画計画に掲げる目標（R7までに40%）には達していない。県ではこれまで、地域の女性リーダー育成事業に取り組んできたが、市町村における人材の活用を進め、女性の登用を加速化することが必要。

## 事業の特徴

自治会の役員や自主防災組織のメンバー等を対象に、災害時よりもより平常時においても多様な視点で防災・復興に対応できる人材を育成するため、男女共同参画の視点や避難者の心身の健康について学ぶ講義や、学びを生かした避難所運営のグループワークを実施。また、市町村や男女センターの職員を対象に、女性人材活用力の向上をはかる実践的な研修を実施。

## 事業の効果

○男女共同参画の視点を持った災害対応人材育成事業では、いずれの講義・ワークでも、「参考になった」以上と回答した割合が高く、参加者のニーズに即した内容であったとともに、新たな学びを提供できたといえる。

○地域の政策・意思決定女性参画促進事業では、市町村審議会等委員に占める女性の割合は、令和5年4月1日現在で34.7%（令和4年4月1日時点では34.3%）であり、県の目標である令和7年度での40%達成に向けて上昇している。

## 目的・目標

自治会の役員や自主防災組織のメンバー等を対象に、災害時よりもより平常時においても多様な視点で防災・復興に対応できる女性人材を育成する。あわせて、当該事業等を受講した女性人材の、政策・意思決定の場への参画が進むよう、市町村や男女センターの職員を対象に、女性人材活用力の向上を図る。

## 連携団体

福岡県男女共同参画推進連絡会議（ふくおかみらいねっと）  
 その他地域女性団体  
 ※参考：福岡県男女共同参画推進連絡会議（ふくおかみらいねっと） 会員団体  
 たがわ21女性会議、特定非営利活動法人 住みよいあさくらをめざす風おこしの会、男女が輝くネットワークやめ、行橋男女共同参画ネット、女性ネットなかま、おごおり女性協議会、男女共同参画ネットワーク春日、大野城共生ネットワーク、ずっと住みたい那珂川ネット21、キャンパス・セクシュアル・ハラスメント全国ネットワーク九州ブロック、福岡県農業委員会女性ネットワーク、福岡県女性農村アドバイザーOB会「緑の風」、ワーキング・ウィメンズ・ヴォイス、築上町男女共同参画ネット ちくjoin!、公益社団法人 福岡県栄養士会、糸島県男女共同参画推進連絡会議（糸島ネット）、福岡市有志の会、NPO法人ジェンダー平等福岡市民の会

## 今後の課題

○男女共同参画の視点を持った災害対応人材育成事業においては、講座参加者は男女共同参画の視点や女性リーダーの重要性を理解しているが、それを地域に戻って波及させようとしても理解が得にくいという声があることから、地域をうまく巻き込むためのノウハウを学ぶカリキュラムの検討が必要。

○地域の政策・意思決定女性参画促進事業においては、対象が市町村職員であることから、連日の参加が業務の都合上困難との声があり、オンラインの活用やカリキュラムの見直し等、対象者のニーズを踏まえ、職員が参加しやすい実施方法の検討が必要。

